

政策変更コスト	<p>● 建設費削減コストを削減する際の削減率</p> <p>● 建設費削減コストを削減する際の削減率</p>	<p>削減率を算出する際の削減率</p>
政策変更コスト	<p>● 日本国産の資源継続性・競争力向上の如何。(JERC, JNFI)</p> <p>● もんじゅの閉鎖性・実現可能性など評価してなお経済性があるのか。(JAEN)</p> <p>● 原子力カプシオ下でもコスト等削減委員会・技術小委の設置構築は成立するのか。(JERC)</p> <p>● 再処理から直接処分へ政策変更する場合の社会コスト如何。(JERC)</p>	<p>閉鎖性や競争力向上の如何</p>
経済・産業への影響	<p>● サイクルオプゾションによる経済・産業への影響に本当に有意な差があるのか(コスト削減の差1円/kWhに数千億円の原子力発電量を減しても、せいぜい数千億円の内部損失)。(JERC, JAEN)</p> <p>● 研究施設での技術開発などでも雇用は確保できるのではないか。(東海での雇用について整理→JAEN)</p>	<p>原子力発電の経済性</p>
核不拡散性	<p>● サイクルオプゾションごとの内在的核不拡散性を高める技術開発の動向如何。(JAEN)</p>	<p>核不拡散性</p>
技術力維持	<p>● 原子力カプシオ下では新規模建設や人材育成ができません、技術力維持は不可能であり、オプゾションとして放棄はざるを得ないのではないか。(JERC)</p> <p>● 研究施設での技術開発などを続けられれば十分に、商業運転を目指す必要はないのではないか。</p>	<p>技術力維持</p>
国際貢献	<p>● もんじゅめなどの状況に関わらず本当に国際貢献は可能なのか。(JAEN)</p> <p>● 我が国としてなせ国際貢献を目指すべきなのか。(例えば、巨費を投じて大型の商業施設を動かすよりも、特定の先進的なFBR技術、再処理技術の研究開発に特化してはどうか。)(JAEN) (RRP技術による核不拡散技術確保→JNFI)</p>	<p>国際貢献</p>
海外の動向	<p>● 海外では、再処理路線の見直しが進んでいるのではないか。</p>	<p>海外の動向</p>
社会実用性(立地関係)	<p>(政策的リスク) 処分施設が常設しなければ、原子力の利用を制限する必要がある。(#9 金子) 「リサイクルなたな方」を考えるべき。(#12 横川)</p> <p>(技術的リスク) 処分施設が常設なら、原子力は2050年頃までの過渡的なエネルギー、「リサイクルなたな方」を考えるべき。(#12 横川)</p> <p>(経済的リスク) 処分施設が常設なら、原子力は2050年頃までの過渡的なエネルギー、「リサイクルなたな方」を考えるべき。(#12 横川)</p> <p>● 各施設についてこれまでの立地地域の受け入れの経緯如何(地元理解のポイント→JNFI)(海外、及びPu含有有無説明しているかどうか→NIMO)</p> <p>● 最終処分施設や中間貯蔵施設、サイト内貯蔵施設等の立地に関する最近の動向如何。(NIMO, JERC)</p>	<p>社会実用性(立地関係)</p>
政策変更に伴う課題	<p>● 再処理から直接処分へ政策変更する場合の社会コスト如何。(再掲)</p>	<p>政策変更に伴う課題</p>
選択性の確保(柔軟性)	<p>● 原子力カプシオ下でもなお複数の選択肢の確保が必要となるのか。</p>	<p>選択性の確保(柔軟性)</p>